ボブ・ディラン　ノーベル文学賞受賞記念

１９６５年――時代は変わろうとしていた。
ボブ・ディランも変わろうとしていた。

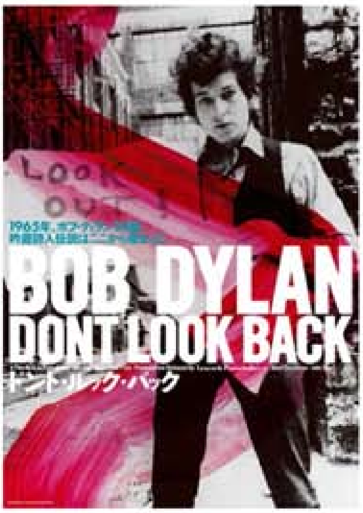
ドント・ルック・バック

【デジタル・リマスター版】

公開決定＆メインビジュアル解禁のご案内

平素よりお世話になっております。この度、2016年10月にノーベル文学賞を受賞したばかりのボブ・ディランの、若き日を記録したドキュメンタリー映画『ドント・ルック・バック』が、50年ぶりにデジタル・リマスター版として公開することが決定しました。5月27日（土）より新宿K's cinemaほか全国順次公開となります。なお公開決定に合わせて、メインビジュアルも解禁します。何卒ニュース掲載のほど宜しくお願い致します。

“偉大なる詩人”ボブ・ディランの
＜特別な始まり＞を記録した音楽ドキュメンタリーの金字塔


LOOK OUT!
BOB DYLAN
DONT LOOK BACK
ドント・ルック・バック

1962年のデビューから社会に対する痛烈なメッセージを自曲にのせ、今日まで半世紀以上ひたすら歌い、走り続けてきたボブ・ディランは2016年10月にノーベル文学賞を受賞した。“Dont Look Back”―うしろを振り返るな、とばかりに『サブタレニアン・ホーム・シック・ブルース』の歌詞カードを曲に合わせて一枚ずつ落としていく印象的なシーンから始まる『ドント・ルック・バック』は、1965年、4～5月の英国ツアー中のボブ・ディラン追ったドキュメンタリーである。

‘65年は、時代もディランも変わろうとしていた。ディランはフォークを歌う詩人からポップ・ミュージックの変革者へと進化しようとしていた。“時間を止めようと人はいろんな事をする。だがそんな事はできない”とばかりに、映画はオープニング・シーンからディランの数々のライヴ演奏、舞台裏の風景、記者へのこき下ろし、熱烈なファンの様子などを含めて、ボブ・ディランが“ディラン”を演ずる姿を、監督ペネベーカーの16ミリキャメラがリアルに撮りだしていく。“偉大なる詩人”としてノーベル賞を受賞したボブ・ディランの＜特別な始まり＞を告げた『ドント・ルック・バック』は、公開後50年を経て今なお驚くべき斬新さに溢れた音楽ドキュメンタリー史上の金字塔として映画史に刻まれている。

◆◆◆

『ドント・ルック・バック』（原題：Dont Look Back）
1967年／アメリカ映画／96分／配給：アダンソニア、オンリー・ハーツ
監督、編集、撮影：D・A・ペネベーカー
製作：アルバート・グロスマン、ジョン・コート
撮影：ハワード・アルク、ジョネス・アルク、エド・エムシュウイラー
出演：ボブ・ディラン、ジョーン・バエズ、ドノヴァン、アラン・プライス
アレン・ギンズバーグ、アルバート・グロスマン、ボブ・ニューワース

© 2016Pennebaker　Hegedus films.Inc

あらすじ：フォーク・ロックムーヴメントの先駆者ボブ・ディランの、64年のイギリスツアーを追ったドキュメンタリー。アコースティック・ギターから転向した彼の、初のエレクトリック・アルバム“Bringing It All Back Home”に収録されている“Subterranean Homesick Blues”を冒頭に、ファンの嬌声と取材陣に迎えられてのロンドン空港到着の模様から始まり、約2週間にわたるツアーを、コンサート・シーンとプライヴェート・シーンを織り交ぜて映し出す。

◆◆◆

宣伝：　岩井秀世　TEL：090-7270-0423　　MAIL：iwai1977@gmail.com

5月27日（土）より新宿K's cinemaほか　全国順次公開